

自動車事故報告書の記入等の取扱いについて

第1 報告書の記入

報告書の記入は、次に掲げる取扱いによること。

1 事故の種類

(1) 区分欄

(ア) 2種類以上の事故を併発した場合は、最も大きな被害を発生した事故を当該事故の種類とすること。

(イ) 自動車又は原動機付自転車と衝突又は接触して当該車両に乗っている者を死傷させた場合は「衝突」とし、自転車に乗っている者を死傷させた場合は「死傷」とすること。

(ウ) 走行中の車両への飛び乗り又は飛び降り等によって死傷した場合は「死傷」とすること。ただし、乗務員の不注意（扉の開口走行等）によって乗客等が当該車両より転落して死傷した場合は、「車内」とすること。

(エ) 家屋その他の物件と衝突して付近にいた人を死傷させた場合は「衝突」とすること。

(2) 衝突等の状態欄

(ア) 自動車が相手方と対面して接近し、衝突又は接触した場合は「正面衝突」とすること。

(イ) 自動車が相手方と対面方向又は同方向以外の方向に進行（一方が停止している場合を含む。以下同じ。）して衝突又は接触した場合は「側面衝突」とすること。

(ウ) 自動車が相手方と同方向に進行していて衝突又は接触した場合で次の「接触」以外の場合は「追突」とすること。

(エ) 自動車が相手方と並進中又は後続車が先行車を追い抜き、もしくは並進しようとして接触した場合は「接触」とすること。

(オ) 自動車が家屋、その他の物と衝突した場合は「物件衝突」とすること。

2 当該自動車の概要

(1) 「車名」、「型式」、「車体の形状」及び「初度登録年又は初度検査年」は、けん引車が被けん引車を連結した状態で事故を引き起こした場合には、それぞれの車両について記載すること。

(2) 「有償貸渡し（レンタカー）」は、道路運送法（昭和26年法律第183号。以下「法」という。）第80条第1項の規定により受けた許可に係る自家用自動車とすること。

(3) 「有償旅客運送」は、法第79条の規定により受けた登録に係る自家用有償旅客運送自動車とすること。

(4) 「積載危険物等の品名」は、規則別記様式（注）（10）各号のそれぞれの法令に定められた名称とすること。

3 道路等の状況

「警戒標識」は、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（昭和35年総理府・建設省令第3号）第1条第2号に定めるものとし、同標識が設置されており、当該警戒標識によって運転上注意の必要があると認められる箇所において当該事故が発生した場合に「有」とし、それ以外の場合は「無」とすること。

4 損害の程度

「損害の程度」は、当該事故を引き起こしたときの医師の診断結果に基づき記入することを原則とするが、死亡については、当該事故の発生後24時間以内に死亡したものとすること。

5 当時の状況

(1) 当該自動車の事故時の走行等の態様欄

(ア)「追越」は、自動車が進路を変え前車の側方を通過してその前方に出るまでとすること。

(イ)「左(右)折」は、直進の状態からハンドルを左(右)に切り、さらに直進の状態に戻るまでとすること。

(ウ)「その他」は、蛇行、割り込み等とすること。

(2) 事故発生地点欄

(ア) 事故発生地点の区分は、当該事故が発生したときに、当該自動車の大部分が位置していた場所によるものとすること。

(イ) 交差点、バス停留所、トンネル等において、当該事故が発生した場合は、車道、路側帯等と重複することがあるが、その場合には、上記(ア)に係わらず該当する両方を で囲むこと。

(ウ)「歩道」は、歩行者の通行の用に供するため縁石線又は柵その他これに類する工作物によって区画された道路の部分とすること。

(エ)「路側帯」は、歩行者の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道の設けられていない道路又は道路の歩道の設けられていない側の路端寄りに設けられた道路標識によって区画された帯状の道路の部分とすること。

(オ)「路肩」は、道路の主要部分を保護するため車道、歩道等に接続して設けられた部分であって「路側帯」以外のものとすること。

(カ)「交差点」は、2以上の道路(歩道を除く。)の交わる部分(車両停止線のある場合にあっては、車両停止線を対向車線に延長した線によって囲まれた道路の部分)とすること。

(キ)「バス停留所」は、乗合バス停留所の前後20mの道路の部分とすること。

(3) 車両故障箇所欄

(ア)「車わく」は、車体を含むものとすること。

(イ)「その他」に該当するものがあつた場合は、()書で当該装置名等を記入すること。

(例：電気系統、燃料系統、原動機、連結装置等)

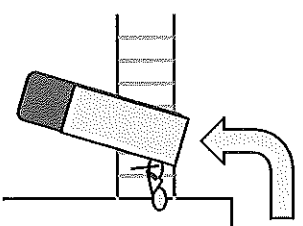
6 乗務員

- (1) 「経験年数」は、当該自動車を運転することができる資格を得たときからの運転経験の期間とすること。
- (2) 「本務・臨時の別」は、自動車運送事業者から当該運送事業の用に供する自動車の運転者として選任されている者を「本務」とし、それ以外の者は「臨時」とすること。
- (3) 「乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離」は、当日の最初の乗務から事故発生までの乗務時間及び乗務キロ数のそれぞれの総和とすること。ただし、乗務が2日以上にわたって継続して行われた場合は、当該乗務の開始から事故発生までの乗務時間及び乗務キロ数とすること。この場合において、乗務員がその途中で8時間以上事業用自動車を離れた場合は、そこで乗務が終了したものとすること。
- (4) 「交替運転者の配置」は、運転を交替するための者が当該自動車に同乗しているか否とにかかわらず、当該運行計画において、運転を交替する者が配置されている場合は「有」とし、それ以外は「無」とすること。

なお、交替運転者が運転を交替した後に事故を惹起した場合には、当該交替運転者が運転を交替してから事故発生までの乗務キロ数を記載すること。
- (5) 「過去3年間の事故の状況」及び「過去3年間の道路交通法の違反の状況」は、事業用自動車の乗務時のものを記載すること。

7 再発防止対策

事故原因が明らかになってから講ずることとしている場合には、「原因究明結果待ち」と記入するとともに、緊急的に講じた対策についても記入すること。

自動車事故報告書			
国土交通大臣 ○○○○ 殿		株式会社	
自動車の使用者の氏名又は名称		住所	
電話番号		平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日 提出	
☆発生日時	平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日 ○○ 時 ○○ 分		☆路線名 又は 道路名 県道262号 道 線
天 候	①晴れ 2曇 3雨 4雪 5霧 6その他		
☆発生場所	都道府県	区市郡	
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置		☆自動車登録番号 又は車両番号	
営業所 市	事故車両の自動車検査証の使用の本拠の名所及び位置を記載 町四丁目1 - 1 - 2		100か○○○○ <small>連結車両の場合は、上段にトラクタ、下段にトレーラを記載</small>
☆当時の状況			
県道262号北方から南方へ向かい、交差点を信号機に後い左折したところ自転車が横断し始めたため急ブレーキをかけたが自転車後輪に引っかけ自転車を転倒させた。			
自転車に乗っていた方は、転倒したはずみで左腕、ろっ骨を骨折した。			
事故の発生に係る状況をわかりやすく記載して下さい。			
☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）			
		事故現場の見取り図をわかりやすく記載して下さい。 道路形状、車線の区分を図示して下さい。 別用紙に記載しても結構です。	
☆当時の処置	運転者は、トラックをその場でハザードランプを点け止まり、転倒した方を助け起こし、歩道へ連れて行き、救急車の手配を行った。		
☆事故の原因	左折時の横断歩道者の確認不良		
☆再発防止対策	交差点での右左折時の横断歩道手前での一旦停止と横断歩道者の確実に確認の実施を全運転者に指導した。 御社の事故の再発防止を記載して下さい。		
※備考	記入しない		

事故の種別	区分	1 転覆	2 転落	3 路外逸脱	4 火災	5 踏切	6 衝突	7 死傷	8 危険物等	9 車内	10 飲酒等	11 健康起因	12 救護違反	13 車両故障	14 交通傷害	15 その他	☆ 危険認知時の速度	10 km/h
	☆発生順	2種類以上の事故が生じたときには、「発生の順」の欄に番号を記入																
	☆転落の状態	落差 m								水深 m								
	衝突等の状態	1 正面衝突 4 接触		2 側面衝突 5 物件衝突				3 追突										
	☆車名	☆型式		☆車体の形状			☆初年度登録年又は初度検査年											
	〇〇〇	△△-△△△△		バン			平成21年											
	車検証のとおりを記載																	
	事業用	1 乗合旅客 3 乗用旅客 5 一般貨物 (イ特別積合せ貨物 6 特定貨物				2 貸切旅客 4 特定旅客 7 特定第二種 8 その他												
	自家用	1 有償貸し(レンタカー) 2 有償旅客運送				3 その他												
	種別	1 普通		2 小型				3 その他										
	☆乗車定員	2 人				☆当時の乗車人員 1 人												
	☆最大積載量	4,250 kg				4,000 kg												
	許可等の必要性	制限外許可 特殊車両通行許可 保安基準の緩和				1 有 2 無												
	許可等の取得状況	制限外許可 特殊車両通行許可 保安基準の緩和				1 有 2 無												
	貨物の場合、該当事項を記載	1 砂等 2 コンクリート 7 原木、製材				2 長大物品等 5 危険物等 8 引越				3 コンテナ 6 冷凍、冷蔵品 9 その他								
積載危険物の種類	1 危険物 4 核				2 火薬類 5 R I				3 高圧ガス 6 毒劇物 7 可燃物									
運搬の有無	1 有				2 無													
積載危険物の種類	1 危険物 4 核				2 火薬類 5 R I				3 高圧ガス 6 毒劇物 7 可燃物									
☆品名及び積載量又は放射能の量	イヨーロッパの携行状況				1 有 2 無													
道路の種類	1 道路 (イ高速自動車国道 2 その他の場所 3 その他)																	
☆道路の幅員	路肩部分を含む総幅員 約30 m																	
こう配	1 平たん		2 上り				3 下り											
道路の形態	1 直線		2 右曲り				3 左曲り											
路面の状態	1 乾		2 湿				3 積雪				4 氷結							
警戒標識の設置	1 有		2 無															
踏切の状態	1 遮断機付き				2 警報機付き													
☆当時の運行計画	(発地・経由地・着地) 営業所出発 → 市(積込) → 市(積込) → 市(荷卸) → 埠庫																	
☆営業所及び運行等の状況	☆運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等(貸切旅客のみ) 貨切バスの場合記入																	
安全性優良事業所の認定(貨物のみ)	1 有				2 無													
運送形態	1 下請運送				2 その他													
☆荷送人の氏名又は名称及び住所	貨物の場合記入				△△冷凍食品 市													
☆荷受人の氏名又は名称及び住所					○×ディスカウントスーパー 市 △△													
当該自動車の状態	☆氏名 〇〇〇△△△ ☆年齢 30 才 ☆経年数 3 年 3 月 ☆運転者の職業としての勤務状況 ☆最近出勤しなかった日数 ☆乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離 ☆最近出勤しなかった日数から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計 ☆氏名 〇〇〇△△△ ☆年齢 30 才 ☆経年数 3 年 3 月 ☆運転者の職業としての勤務状況 ☆最近出勤しなかった日数 ☆乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離 ☆最近出勤しなかった日数から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計																	
運送者の乗務状況	1 死亡 2 重傷 3 軽傷 1 普通 2 非着用 3 非装備 1 有 (交替後の乗務時間及び乗務距離) 時間 km 2 無 過去3年間の事故の状況 (過去3年間の事故件数) 1 件 (最近の事故年月日) 平成22年 9月 1日 過去3年間の道路交通法の違反の状況 (過去3年間の違反件数) 1 件 (最近の違反年月日) 平成22年 3月 31日 過去3年間の適性診断の受診状況 (有) 2 無 (最近の受診年月日) 平成22年 9月 15日 (適性診断受診場所) 事故対策機検 最近の健康診断の受診年月日 (最近の受診年月日) 平成22年 9月 9日 本務・臨時の別 1 本務 2 臨時 損害の程度 1 死亡 2 重傷 3 軽傷 シートベルトの着用状況 1 着用 2 非着用 3 非装備																	
運送者の乗務状況	1 死亡 2 重傷 3 軽傷 1 普通 2 非着用 3 非装備 1 有 (交替後の乗務時間及び乗務距離) 時間 km 2 無 過去3年間の事故の状況 (過去3年間の事故件数) 1 件 (最近の事故年月日) 平成22年 9月 1日 過去3年間の道路交通法の違反の状況 (過去3年間の違反件数) 1 件 (最近の違反年月日) 平成22年 3月 31日 過去3年間の適性診断の受診状況 (有) 2 無 (最近の受診年月日) 平成22年 9月 15日 (適性診断受診場所) 事故対策機検 最近の健康診断の受診年月日 (最近の受診年月日) 平成22年 9月 9日 本務・臨時の別 1 本務 2 臨時 損害の程度 1 死亡 2 重傷 3 軽傷 シートベルトの着用状況 1 着用 2 非着用 3 非装備																	
運送者の乗務状況	運行管理者 当該事故の責任運行管理者 氏名 〇〇〇□□ 運行管理者資格者証番号 貨物第〇〇子 統括運行管理者 △△△◎◎◎ 貨物第△△子																	
運送者の乗務状況	☆損害の程度 ◆死亡 人 (うち乗客 人) ◆重傷 1 人 (うち乗客 人) 軽傷 人 (うち乗客 人)																	
運送者の乗務状況	※事業者番号 記入しない																	
運送者の乗務状況	※再発防止対策 記入しない																	